

クローズアップ マイタウンJOTO

谷 圭子さん(関目東地域在住)

いろいろな人と心をつないだ 絵手紙は、私の人生です

ポストに1通の絵手紙。手に取って眺めると、なんとまあ、味のある絵と文字が はがきいっぱい。線が少しゆがんでいても、色がはみ出したりしていてもいい。むしろそのほうが、気持ちや人柄があらわれ、もらった人の心を温かくするものです。今回は、絵手紙の講師として活躍する谷圭子さんに、絵手紙の魅力を語っていただくとともに、絵手紙にまつわるエピソードをうかがいました。

モチーフと対話しながら 描いていく

「花や野菜、魚・・・モチーフが何かを語りかけてくる。インスピレーションで、絵手紙を描いています」

実際に描くときは、モノと対話します。「『どの方向から描いたら、美味しそうに見えるかな』と話しかけると必ず『こっちから見て欲しいな』と返してくれます」



▲モチーフとの対話から生まれる温かみ

人に教える時は、こういいます。「うまく描こうとしないで。自分が感じたまま、みえたままに描けばいいから」

お手本は、子どもたち。「とらわれない奇想天外な発想ですし、絵に心が素直に表れています。例えば、1文字ずつ色を変えていたりすれば『楽しんで描いてるな』というのが伝わってくるんです」

谷さんは、毎年100枚くらい応募がある城東区の「年賀状コンテスト」の審査員も長年務めています。審査で重視するのは「描き手がどこに感動したのかが伝わってくる作品。上手さを自慢したり、義理で描いたりしたものはすぐわかる」とのこと。

母さんにおくる 切手のない手紙

圭子さんが絵手紙を始めたのは、平成9年2月。もともと絵や文を



▲「失敗作なんてないから、思った通り描いてみて!」と励ます谷圭子さん

書いたりすることは好きでした。しかし、始めたきっかけは、病気の圭子さんを気にかけていた母・ユキ子さんを安心させるためでした。

「『わたし、元気よ』といちいち電話するより、絵を描いて一言添えたほうが伝わる。絵手紙っていいなと思いましたね」

圭子さんがユキ子さんに絵手紙を送ったら、なんとユキ子さんから「絵手紙で」返信がありました。力が入ったはがきをみて「対抗してきたなあ。『あんたがやれるもんなら私もやれる』。母は負けず嫌いなのでそんな気持ちで送ってきたと思います」

ユキ子さんは、51歳で夫を亡くし、女手一つで圭子さんを育てながらも、大正琴、詩吟、俳句、俳画、何にでも挑戦し、人生を楽しむ人でした。発想が豊かで、子どもの頃、圭子さんが夜道をのらりく

り歩いているときも「速く歩きなさい!」と叱るのではなく、「お星さんとかけっこしようか。逃げていくやろ、ほら走って!」と促していたとか。そんなユキ子さんとやりとりが、圭子さんの感性を育てました。

しかしながら、絵手紙の交換を始めて1年も経たない頃、ユキ子さんは突然、事故死しました。

「私が60歳のときでした。老いていくなか、何を目的に生きていいのかと弱気になりましたね。そんなとき『何考えてんの。あの生き方でいけばいいねん!』

圭子さんを励ましたのは、いつも楽しく一生懸命生きた、亡き母の姿でした。

「人生に手本あり、師あり」。師とは母のこと。圭子さんは母への想いを込めた絵手紙を「母さんにおくる切手のない



▲すだちは手前の葉っぱから先に描く



▲精巧に作られたミニチュア凧



▲初めてで、こんなに素敵な仕上がりに!



▲「歌おう会」の舞台発表

手紙」としてずっと書き続けています。

技術よりも “絵心”を伝えたい

圭子さんは、今年の10月まで城東区の老人福祉センターで第2水曜日に絵手紙教室の講師を務めていました。

「道具揃えただけど続かないのでやめた」「やりたいけど途中で挫折した」そんな人に声をかけていきました。

「絵は好きならそれでいい。描き方は自分流でいい。道具だって一式揃えてなくても、クレヨン、マジック、色鉛筆、家にあるもので十分です。それよりも、みんなと一緒にやりたい『あんた、それええ感じやな。こうしたらもっとよくなるで』とお互いに言葉を交わしながら気楽に」

そのフレンドリーな人柄が人気を呼

んで、圭子さんが教えるところにはいつも人が集まり、絵手紙の仲間は、また広がっていきました。

絵手紙を通じて ぬくもりを感じる

絵手紙を続けてきてよかったのは「誰とでも会話ができるようになったこと。絵手紙を通して、人のぬくもりを感じるとき。私が、今日まで元気で楽しく過ごすことができたのは、出会ったいろんな人が支えてくれたから。感謝しています」

絵手紙のほかにも圭子さんは、絵手紙の技を活かして「日本の凧の会」で月に2回、凧づくりを指導したり、月に1回、老人福祉センターで唱歌、童謡等をみんなで歌う「歌おう会」の指揮、指導をしたりするなど、毎日走り回っています。

20年前に母を亡くしてから、心の中の母を師とし、生き抜いてきた圭子さん。今度は、圭子さんが見つないできた多くの人たちのなかに、圭子さんを「人生の師」とする人が現れるのではないのでしょうか。



●絵手紙は城東区内の生涯学習ルームでも受講できます。＊講師は谷圭子さんではありません。詳細は、区役所市民協働課(市民活動支援) ☎6930-9094 FAX6931-9999 まで

CONTENTS

- 2 クローズアップ いろいろな人と心をつないだ絵手紙は、私の人生です 谷 圭子さん
4 トピックス 歳末警戒実施中!!/総合区素案に関する住民説明会を開催します
6 お知らせ 区役所の年末年始のお休み/年末年始のごみ収集日程
7 子育て スキルアップ!ママカフェ/「東中浜みらい広場」がオープン
8 健康 ノロウイルスに注意しましょう!/予防接種・結核健診・各種がん検診等の日程
9 相談 区役所での専門相談/市民法律相談/人権相談/就労相談/経営相談
10 イベント・講座 城東区成人の日 記念のついで!ブルーリーフXmasコンサート 城東区ミニ・マラソン大会参加者募集!!/新春おひるまらくご
13 城東区通信 松本区長の城東大好記/地活協だより
14 おおさか掲示板 年末年始のご案内

